

保護者 各位

遠野市立附馬牛小学校
校長 井 藤 聡

令和7年度 学校評価アンケート及びまなびフェストふりかえり（中間）の結果について

秋風の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃より本校の教育活動に対し多大なるご理解とご協力を賜っておりますことに心より感謝申し上げます。

さて、過日お願いいたしました学校評価アンケート及びまなびフェストのふりかえりアンケートにお忙しいところご協力いただき、誠にありがとうございました。それぞれについての集計結果と結果を踏まえての今後の改善事項等についてお知らせいたします。また、第2回学校運営協議会（9月5日開催）において集計結果に関わり学校運営協議委員の皆様からいただいたご意見も併せて紹介いたします。

なお、今回の保護者回答件数は19件（回答率70%）でした。次回（年度末評価）は12月に実施予定ですので、ぜひご協力のほどお願い申し上げます。

記

回答の選択肢について

A：そう思う B：どちらかというと思う C：どちらかというと思わない
D：そう思わない E：どちらとも言えない、わからない

I 学校評価アンケート（今年度の重点項目について）

1. 学びづくり

(1) 学校（教職員）は、小規模・複式の良さを生かした学習指導の充実に向けて取り組んでいるか。

	保護者回答		教職員回答	
A	52.6%	肯定回答	75.0%	肯定回答
B	42.1%	94.7%	25.0%	100%
C	0%	否定回答	0%	否定回答
D	0%	0%	0%	0%
E	5.3%		0%	

(2) 学校（教職員）は、地域の人・もの・ことを生かした学習の充実に向けて取り組んでいるか。

	保護者回答		教職員回答	
A	52.6%	肯定回答	87.5%	肯定回答
B	47.4%	100%	12.5%	100%
C	0%	否定回答	0%	否定回答
D	0%	0%	0%	0%
E	0%		0%	

(3) 学校（教職員）は、継続的・計画的な読書指導の推進に取り組んでいるか。

	保護者回答		教職員回答	
A	47.4%	肯定回答	50.0%	肯定回答
B	47.4%	94.8%	50.0%	100%
C	0%	否定回答	0%	否定回答
D	0%	0%	0%	0%
E	5.3%		0%	

【まとめ・改善事項等】

保護者の肯定回答が僅かですが100%に届かなかったものの、いずれの項目においても保護者・教職員とも肯定回答の割合が約95～100%の結果となりました。(1)と(2)のA回答の割合は保護者の方が若干低くなっています。(1)(2)いずれも2学期以降の取組をわかりやすく発信していくことが必要であると考えております。また、(3)の読書の取組については、2学期以降は読書カードの取組をスタートさせ、より児童の取組の様子が見えやすくなるよう努力してまいります。

2. 心づくり

(1) 学校（教職員）は、思いやりの心を育む指導の充実に向けて取り組んでいるか。

	保護者回答		教職員回答	
A	31.6%	肯定回答	75.0%	肯定回答
B	63.2%	94.8%	25.0%	100%
C	0%	否定回答	0%	否定回答
D	0%	0%	0%	0%
E	5.3%		0%	

(2) 学校（教職員）は、教育環境の整備の推進に取り組んでいるか。

	保護者回答		教職員回答	
A	57.9%	肯定回答	87.5%	肯定回答
B	42.1%	100%	12.5%	100%
C	0%	否定回答	0%	否定回答
D	0%	0%	0%	0%
E	0%		0%	

【まとめ・改善事項等】

「学びづくり」と同様に、(1)については保護者の肯定回答が僅かですが100%に届かなかったものの、いずれの項目においても保護者・教職員とも肯定回答の割合が約95～100%の結果となっています。ここでも教職員より保護者の方がA回答の割合が低くなっていることから、学校での取組についてもよりわかりやすく発信していく必要があると考えております。

3. 体づくり

(1) 学校（教職員）は、児童による主体的な健康増進の取組を推進しているか。

	保護者回答		教職員回答	
A	52.6%	肯定回答	100%	肯定回答
B	42.1%	94.7%	0%	100%
C	0%	否定回答	0%	否定回答
D	0%	0%	0%	0%
E	5.3%		0%	

(2) 学校（教職員）は、家庭と連携しながら基本的な生活習慣の向上に向けて取り組んでいるか。

	保護者回答		教職員回答	
A	52.6%	肯定回答	87.5%	肯定回答
B	47.4%	100%	12.5%	100%
C	0%	否定回答	0%	否定回答
D	0%	0%	0%	0%
E	0%		0%	

(3) 学校（教職員）は、家庭と連携しながら保健指導の充実に向けて取り組んでいるか。

	保護者回答		教職員回答	
A	47.4%	肯定回答	100%	肯定回答
B	52.6%	100%	0%	100%
C	0%	否定回答	0%	否定回答
D	0%	0%	0%	0%
E	0%		0%	

【まとめ・改善事項等】

これまでの項目と同様に、(1)について保護者の肯定回答が僅かですが100%に届かなかったものの、いずれの項目でも保護者・教職員とも肯定回答の割合が約95～100%の結果となっています。ここでも、教職員より保護者の方がA回答の割合が低くなっていますので、家庭との情報共有や連携についてより丁寧に取り組んでいきたいと思っております。

4. その他

(1) 学校（教職員）は、保護者に対して必要な連絡を的確に伝えたり、学校の状況をわかりやすく発信したりしているか。

	保護者回答		教職員回答	
A	68.4%	肯定回答	100%	肯定回答
B	31.6%	100%	0%	100%
C	0%	否定回答	0%	否定回答
D	0%	0%	0%	0%
E	0%		0%	

(2) 学校（教職員）は、家庭と連携しながら教育活動を推進しているか。

	保護者回答		教職員回答	
A	68.4%	肯定回答	87.5%	肯定回答
B	31.6%	100%	12.5%	100%
C	0%	否定回答	0%	否定回答
D	0%	0%	0%	0%
E	0%		0%	

【まとめ・改善事項等】

情報の発信・家庭との連携に関わってはいずれも肯定回答が100%となっています。ただし、これまでの傾向と同様に保護者の方がA回答の割合が若干低くなっています。保護者の皆様が必要としている情報をわかりやすく発信しているか、「連絡帳」「学級通信」「校報」「さくら連絡網」「ホームページ」等それぞれの方法や内容について常に確認しながら改善を図ってまいりたいと思います。

5. 自由記述（その他、意見等）→特に記述はございませんでした

II まなびフェストふりかえり

【子どもの取組状況について】

1. まなび合う子ども

①授業に集中して取り組めたか。【数値目標90%以上】

	児童回答		保護者回答		教職員回答	
A	51.7%	肯定回答	47.4%	肯定回答	55.6%	肯定回答
B	44.8%	96.5%	31.6%	79.0%	44.4%	100%
C	3.4%	否定回答	10.5%	否定回答	0%	否定回答
D	0%	3.4%	0%	10.5%	0%	0%
E	0%		10.5%		0%	

【まとめ・改善事項等】

児童回答と教職員回答が数値目標を上回りました。
 昨年同時期の児童の肯定回答率が75%であったのに対し約20ポイント上昇しており、多くの児童が授業に集中して取り組んでいると実感していることがわかります。また、教職員の肯定回答も100%と、子どもの自己評価と教職員の評価がほぼ合致しています。更に、保護者の肯定回答も児童・教職員に比較するとやや低い数値とはなっているものの約80%と高くなっていることから、この項目に関しては概ね達成できているものと捉えています。2学期はA評価の割合が高くなるよう授業の改善を図るとともに、指導や適切な評価を継続してまいりたいと思います。

②授業で自分の考えを進んで発言できたか。【数値目標90%以上】

	児童回答		保護者回答		教職員回答	
A	41.4%	肯定回答	42.1%	肯定回答	44.4%	肯定回答
B	48.3%	89.7%	21.1%	63.2%	22.2%	66.6%
C	3.4%	否定回答	26.3%	否定回答	22.2%	否定回答
D	3.4%	6.8%	5.3%	31.6%	0%	22.2%
E	3.4%		5.1%		11.1%	

【まとめ・改善事項等】

児童が数値目標にほぼ近い値となっているものの、保護者・教職員含め数値目標には届いていません。また、児童の評価に対し保護者・教職員の評価が低いことから、児童に対し具体的な「めざす姿」を示し授業内で適切な指導や評価・称揚を継続してまいりたいと考えています。2学期末には肯定回答90%以上を目指したいと思います。

③毎日家庭学習や宿題に取り組めたか。【数値目標90%以上】

	児童回答		保護者回答		教職員回答	
A	65.5%	肯定回答	52.6%	肯定回答	44.4%	肯定回答
B	31.0%	95.5%	36.8%	89.4%	44.4%	88.8%
C	3.4%	否定回答	5.3%	否定回答	0%	否定回答
D	0%	3.4%	5.3%	10.6%	0%	0%
E	0%		0%		11.1%	

【まとめ・改善事項等】

児童が数値目標を上回っています。昨年の同時期の数値（R6…93.8%）と比較しても僅かではあるが数値が上昇しています。保護者・教職員は僅かに数値目標を下回っていますが、ほぼ目標値に達しています。教職員については昨年同時に比較すると10ポイントほど上昇しています。（R6=75.0%）

児童の評価に対し、保護者・教職員の肯定評価が低く出るのは例年通りではあるものの、全体として多くの児童が宿題や家庭学習にしっかりと取り組めたという実感をもっているのは良いことですので、2学期はAの割合が高くなるよう目指し、適切な指導や奨励、評価を続けていきたいと思ひます。

④続けて読書に取り組めたか。【数値目標90%以上】

	児童回答		保護者回答		教職員回答	
A	69.0%	肯定回答	63.2%	肯定回答	55.6%	肯定回答
B	20.7%	89.7%	21.1%	84.3%	33.3%	88.9%
C	10.3%	否定回答	5.3%	否定回答	11.1%	否定回答
D	0%	10.3%	5.3%	10.6%	0%	11.1%
E	0%		5.3%		0%	

【まとめ・改善事項等】

児童・保護者・教職員ともわずかではあるが数値目標には満たなかったものの、昨年度同時期の結果に対してはいずれも肯定回答が増えており（R6…児童81.2%、保護者78.6%、教職員62.5%）全体的には読書に継続して取り組んでいるという状況であると捉えています。2学期以降は新たな取組「読書がんばりカード」が始まります。学習との関連なども図りながら、より積極的に読書に取り組めるような手立てをとってまいります。

2. 心かよい合う子ども

①自分のよいところを見つけ、伸ばせるよう頑張ることができたか。【数値目標90%以上】

	児童回答		保護者回答		教職員回答	
A	51.7%	肯定回答	21.1%	肯定回答	44.4%	肯定回答
B	41.4%	93.1%	52.6%	73.7%	33.3%	77.7%
C	3.4%	否定回答	5.3%	否定回答	22.2%	否定回答
D	0%	3.4%	5.3%	10.6%	0%	22.2%
E	3.4%		15.8%		0%	

【まとめ・改善事項等】

児童は数値目標を上回っているのに対し、保護者と教職員の肯定回答が70%台となっています。大きな差ではありませんが、自己肯定感の捉えについて児童と保護者・教職員のずれが出ています。2学期以降、引き続き児童に対し自己肯定感を高めるような指導や声掛けを続けていくとともに、保護者・教職員が個々の状況を肯定的に見取り、認めることを意識し実践していく必要があると思ひます。保護者の皆様のご協力をお願いします。

②すすんで明るいあいさつをし、時と場に合った話し方ができたか。【数値目標90%以上】

	児童回答		保護者回答		教職員回答	
A	62.1%	肯定回答	36.8%	肯定回答	22.2%	肯定回答
B	37.9%	100%	31.6%	68.4%	44.4%	66.6%
C	0%	否定回答	15.8%	否定回答	33.3%	否定回答
D	0%	0%	5.3%	21.1%	0%	33.3%
E	0%		10.5%		0%	

【まとめ・改善事項等】

児童が数値目標を上回っているのに対し、保護者の肯定回答の割合が低くなっているのは昨年度と同じ状況です。教職員についても、昨年度は肯定回答100%だったのに対し、今年は60%台と低くなっています。児童が「できている」と自分自身を振り返っていることは決して悪いことではないのですが、より積極的に自分から進んで明るい挨拶をしたり、時と場に応じた言葉遣いができていたりするかということについて保護者・教職員ともに適時的確に、そしてより具体的にわかりやすく指導や声掛けをしていく必要があると思われます。保護者の皆様のご協力をお願いします。

③いじめをせず、友だちと仲良く協力し合ったり助け合ったりすることができたか。【数値目標90%以上】

	児童回答		保護者回答		教職員回答	
A	82.8%	肯定回答	68.4%	肯定回答	55.6%	肯定回答
B	10.3%	93.1%	21.1%	89.5%	44.4%	100%
C	6.9%	否定回答	0%	否定回答	0%	否定回答
D	0%	6.9%	5.3%	5.3%	0%	0%
E	0%		5.3%		0%	

【まとめ・改善事項等】

児童・教職員は数値目標を上回っており、保護者も数値目標を下回ったとはいえ、ほんの僅か（0.5ポイント）ですので、概ね達成できたものと捉えています。

学校では、今後も個々の児童の状況についての的確に観察し、必要な指導を行っていくとともに必要に応じ家庭との情報共有や連携を図ってまいります。

また、個々の違いや頑張りを認め合い、思いやりのある態度で他人に接することの大切さを保護者・教職員とも意識し指導・声かけすることをより一層大切にしていきたいと思います。保護者の皆様のご協力をお願いします。

3. きたえ合う子ども

①毎日、早寝・早起き・朝ごはん・歯みがきに取り組めたか。【数値目標90%以上】

	児童回答		保護者回答		教職員回答	
A	44.8%	肯定回答	36.8%	肯定回答	22.2%	肯定回答
B	24.1%	68.9%	36.8%	73.6%	66.7%	88.9%
C	17.2%	否定回答	21.1%	否定回答	11.1%	否定回答
D	10.3%	27.5%	5.3%	26.4%	0%	11.1%
E	3.4%		0%			

【まとめ・改善事項等】

教職員の肯定回答が90%に近づいているものの、児童・保護者も数値目標を下回っています。昨年度同時期と比較しても児童の数値（R6=84.4%）が低くなっていることから、児童全体の傾向として達成できていない現状となっていると捉えています。2学期には数値目標を達成できるよう、学校での指導や声かけを強化してまいります。ご家庭での呼びかけなどが更に効果的です。保護者の皆様のご協力をお願いします。

②メディアコントロールに取り組めたか。【数値目標90%以上】

	児童回答		保護者回答		教職員回答	
A	48.3%	肯定回答	26.3%	肯定回答	22.2%	肯定回答
B	34.5%	82.8%	57.9%	84.2%	44.4%	66.6%
C	13.8%	否定回答	10.5%	否定回答	22.2%	否定回答
D	0%	13.8%	0%	10.5%	0%	22.2%
E	3.4%		5.3%		11.1%	

【まとめ・改善事項等】

児童・保護者は80%以上の肯定回答率ではあるが、教職員もあわせ数値目標を下回っています。昨年度同時期の数値（R6=75%）に比較すると上昇してはいるものの、Wゼロデーやノーメディア週間以外の日常の取組が十分でなかったのではないかと推測されます。学校としては、実態のチェックや呼びかけ、意識の高揚を図りたいと考えておりますし、家庭での取組がとても重要な項目ですので、保護者の皆様のご協力をお願いします。

③体力づくりにすすんで取り組むことができたか。【数値目標90%以上】

	児童回答		保護者回答		教職員回答	
A	75.9%	肯定回答	52.6%	肯定回答	33.3%	肯定回答
B	20.7%	96.6%	26.3%	78.9%	66.7%	100%
C	3.4%	否定回答	21.1%	否定回答	0%	否定回答
D	0%	3.4%	0%	21.1%	0%	0%
E	0%		0%		0%	

【まとめ・改善事項等】

保護者の肯定回答率が80%をやや下回っていますが、児童と教職員は数値目標を上回っています。「すすんで取り組む」の判断基準が親子で若干ずれていることが原因の1つではないかと推測されます。学校としては、児童の取組を可能な限り可視化できる工夫を考えたいと思います。

【家庭での取組について】（保護者回答）

1. まなび合う子ども

①家庭では、子どもの良さや頑張りを認め、励ますよう努めているか。【数値目標90%以上】

	保護者回答	
A	31.6%	肯定回答
B	68.4%	100%
C	0%	否定回答
D	0%	0%
E	0%	

②家庭では、子どもが集中して家庭学習に取り組めるよう協力しているか。【数値目標90%以上】

	保護者回答	
A	42.1%	肯定回答
B	52.6%	94.7%
C	5.3%	否定回答
D	0%	5.3%
E	0%	

③家庭では、子どもと一緒に読書する時間をできるだけつくるよう努めているか。【数値目標90%以上】

	保護者回答	
A	26.3%	肯定回答
B	10.5%	36.8%
C	47.4%	否定回答
D	15.8%	63.2%
E	0%	0%

【まとめ・改善事項等】

③（読書）以外は肯定回答の割合が90%を超え、数値目標を上回っています。読書については低い肯定回答率となっていますが、保護者の皆様が自己評価の判断基準を厳しく認識していることも要因かと考えられます。学校としては、2学期末には数値目標を達成できるよう、定期的な保護者の皆様への呼びかけとしてまいりたいと考えております。

2. 心かよい合う子ども

①家庭では、家族であいさつを交わしあっているか。【数値目標100%】

保護者回答		
A	73.7%	肯定回答
B	26.3%	100%
C	0%	否定回答
D	0%	0%
E	0%	

②家庭では、子どもと毎日いろんな会話をしているか。【数値目標90%以上】

保護者回答		
A	78.9%	肯定回答
B	21.1%	100%
C	0%	否定回答
D	0%	0%
E	0%	

③家庭では、子どもの仕事や役割を決めて、毎日取り組ませているか。【数値目標90%以上】

保護者回答		
A	26.3%	肯定回答
B	31.6%	57.9%
C	36.8%	否定回答
D	0%	36.8%
E	5.3%	

【まとめ・改善事項等】

①②の項目は数値目標を上回っており、各家庭において意識して取り組んでいただいていることがわかります。一方③（家庭での仕事・役割）は昨年度同時期の数値（50%）を若干上回っているものの、引き続き肯定回答率が低い状況となっています。ご家庭での取組の意識化・強化についてご協力をお願いします。学校での呼びかけも継続してまいりたいと思います。

3. きたえ合う子ども

①家庭では、子どもに早寝・早起き・朝ごはん・歯みがきに取り組ませているか。【数値目標90%以上】

保護者回答		
A	52.6%	肯定回答
B	41.1%	93.7%
C	0%	否定回答
D	0%	0%
E	5.3%	

②家庭では、Wゼロデーやノーメディア週間などのメディアコントロールに親子で取り組んでいるか。【数値目標90%以上】

保護者回答		
A	36.8%	肯定回答
B	57.9%	94.7%
C	5.3%	否定回答
D	0%	5.3%
E	0%	

③家庭では、子どもが体力づくりを継続できるよう励ましているか。 【数値目標90%以上】

保護者回答		
A	36.8%	肯定回答
B	52.6%	89.4%
C	5.3%	否定回答
D	0%	5.3%
E	5.3%	

【まとめ・改善事項等】

③（体力づくりの励まし）が僅かに数値目標を下回ったものの、他の項目は上回っており、概ね数値目標を達成できたものと捉えています。今年度から始めたWゼロデーの意識化と取組が図られているものと思われます。学校としては2学期以降も呼びかけ等による啓発を図りたいと考えておりますので、ご家庭でも引き続き取組を継続していただきたいと思っています。ご協力をお願いします。

【学校での取組について】（教職員回答）

1. まなび合う子ども

①学校は、わかる授業を旨として授業改善に取り組んでいるか。【数値目標90%以上】

教職員回答		
A	77.8%	肯定回答
B	22.2%	100%
C	0%	否定回答
D	0%	0%
E	0%	

②学校は、表現力を伸ばす指導を行い、自分の考えを表現できる子を育てているか。【数値目標90%以上】

教職員回答		
A	55.6%	肯定回答
B	33.3%	88.9%
C	11.1%	否定回答
D	0%	11.1%
E	0%	

③学校は、家庭学習の進め方を指導し、進んで家庭学習に取り組めるよう努めているか。【数値目標90%以上】

教職員回答		
A	77.8%	肯定回答
B	22.2%	100%
C	0%	否定回答
D	0%	0%
E	0%	

④学校は、自分から本を読み、学ぶ子を育てる活動に取り組んでいるか。 【数値目標90%以上】

教職員回答		
A	33.3%	肯定回答
B	66.7%	100%
C	0%	否定回答
D	0%	0%
E	0%	

【まとめ・改善事項等】

②（表現力を育てる）が数値目標を僅かに下回ったものの、いずれの項目においても高い肯定回答率となっており、概ね数値目標を達成できたものと捉えています。ただし、②の表現力の育成については、子どもたちの状況を鑑みますと更に力を伸ばしていける可能性が十分にあり、学校としてもっと力を入れていく必要があると捉えています。日々の授業の中で子どもたちがもっと豊かに自分の考えを表現し合えるような指導の工夫をしてみたいと思います。

2. 心かよい合う子ども

①学校では、自己肯定感を高めるような指導・声掛け等をしているか。【数値目標100%】

教職員回答		
A	44.4%	肯定回答
B	55.6%	100%
C	0%	否定回答
D	0%	0%
E	0%	

②学校では、あいさつの大切さや、時と場に合った話し方などが身に付くよう指導を行っているか。

【数値目標100%】

教職員回答		
A	66.7%	肯定回答
B	33.3%	100%
C	0%	否定回答
D	0%	0%
E	0%	

③学校では、学校いじめ防止基本方針に則り、いじめをしない・いじめを許さない意識を育てるよう指導を行っているか。

【数値目標100%】

教職員回答		
A	100%	肯定回答
B	0%	100%
C	0%	否定回答
D	0%	0%
E	0%	

【まとめ・考察】

いずれの項目においても数値目標を上回っています。2学期以降もこれまで同様に生徒指導・道徳教育・教育相談等の効果的な推進、迅速で的確な保護者の皆様との情報共有ができるよう努めてまいります。

3. きたえ合う子ども

①学校では、健康観察等の時間を活用し基本的な生活習慣の取組状況を把握し、必要に応じて家庭と連携しながら指導しているか。【数値目標90%以上】

教職員回答		
A	77.8%	肯定回答
B	22.2%	100%
C	0%	否定回答
D	0%	0%
E	0%	

②学校では、適切なメディア利用の必要性を指導し、メディアコントロールに主体的に取り組めるよう取り組んでいるか。

【数値目標90%以上】

教職員回答		
A	88.9%	肯定回答
B	11.1%	100%
C	0%	否定回答
D	0%	0%
E	0%	

- ③学校では、健康増進の大切さを指導し、すすんで体力づくりに取り組めるような指導を行っているか。
【数値目標 90%以上】

教職員回答		
A	55.6%	肯定回答
B	44.4%	100%
C	0%	否定回答
D	0%	0%
E	0%	

【まとめ・改善事項等】

いずれの項目においても数値目標を上回っています。2学期以降も引き続き健康安全に関わる指導や保護者との連携を的確に図ってまいりたいと思います。

Ⅲ 集計結果を受けての学校運営協議委員からの意見

9月5日（金）に今年度2回目の学校運営協議会附馬牛小学校部会を開催し、学校評価アンケート及びまなびフェスト振り返りの結果について以下のようなご意見をいただきました。

これらの意見も今後の取組の改善に生かしてまいりたいと思います。

- 小さい頃から本を読むと学習での理解力が上がるという話を聞いたことがある。読書をすることで語彙が増え、自分の考えをもっと表現できるようになるのではないか。
- 多くの人前で発表する機会を作ることで表現力が伸びるのではないか。少人数の友達の前では話せるけど、知らない人前では話せない、では意味がない。例えば、以前遠野緑峰高校の生徒がホップ和紙発表で全国に行ったとき、回を重ねるごとに堂々としていった。学校内だけでなく、地域などの知らない人の前で読書感想文や自由研究の成果などを発表させるような機会を設けることも大切ではないか。
- いつも同じメンバー、少ない人数の中でしか交流が図れないのが小規模校の最大のデメリットだと思う。習い事やスポ少など、より多くの人と関わるような場に出て、自己表現したり、大会に出てみんなに見てもらったりするような経験を積むことで自信に繋がるのではないか。
- 親は多くの経験を子どもにさせる必要があると思う。習い事をさせたり、図書館に連れて行ったり。昔はメディアと言うと本しかなかったものが、今は、本はメディアの一つになって、本の大切さを親が説明できないようなこともあるのではないか。

【お知らせ】

この「学校評価アンケート及びまなびフェスト振り返り」は本校のホームページにも掲載しております。